

ちかい



◆ 総本山誓願寺所蔵「一の谷・屋島合戦図屏風」(部分) ◆

◆ 目次 ◆

- 慈光〈第20回〉
- 賢問子行状記④
- お釈迦さまのご生涯 7
- 御忌法要のご案内

- インド ドタバタ夫婦道中記②
- 総本山誓願寺だより
- 何でも“お寺探偵団” Vol.32
天澤山西光院 常福寺

慈光 20



「慈光」。万物を育成し世に恵みを与える光。大慈悲の光明阿弥陀さまの分け隔てのない暖かい優しい光。私たちにはこの光を頂き、生きさせていただいております。慈光に照らされた私たちの生活を今一度考えてはどうでしょうか? タイトルの『慈光』は、鈴木悟道先生のお寺本宿町「慈光院」より拝しました。

【心の姿勢】

ある脳外科医の言葉によると、性格に関わる人間の遺伝子は、「八三五万分の一」が子どもに伝わるそうです。昔から、親の遺伝と言われているが、全く無に等しいと思われます。

それでは、なぜに巷間で「あの人は親とそっくり似ている。親からの遺伝だ」と言うのでしょうか?

それは、遺伝ではなく、子どもを育てる親の心の姿勢が原因です。新生児の脳は、全く濁り汚れはありません。

ところが育てる親の、無

いなどの汚れ濁つた言語動作を新生児が脳に肌に感じて成長するのです。

それでは、どうすればよいか? 今からでも遅くありません。私どもは自分自身

の心の汚れを一つ知ることができます。「わずか一つ」です。しかし妙なもので、一つ知ることによって、日常生活の周囲が自然と解つてくるのです。

道元さまが、仏教勉学の為に中国にお越しになつた折、中国の老僧が椎茸を乾かしていました。

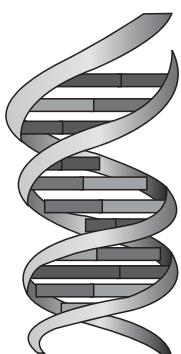
日本では、こんな事は修

すると老僧は「日本のお坊さん、これが私のする事です」。

ハツとしました。自分のすべき事。そして、自分がしてはならぬ行いを教わったのです。道元さまは

がしてはならぬ行いを教わったのです。道元さまはこのことを心に深く刻み生涯を通されました。

自分の非を「ただ一つ知ります。



布教講習所
慈光院住職 鈴木 晃道

賢問子行状記 小島英裕 4

第一話
けんもんし

賢問子、唐に渡る

(後編)

賢問子は百濟の港に到着し唐に到り、役所に仏師となる願いを出しました。

唐の皇帝は「未成年の若者が来て、仏像造り人々と縁を結ばせようとは感心だ。望み通り仏像造りに専念せよ」と命じました。賢問子は身丈三尺の阿弥陀仏を七十五日間で完成させました。

大願が成就した賢問子は、一刻も早く母の気持ちを安らげようと帰国の願いを出しました。ところが皇帝は残念に思い、「もうしばらく国に滞在し、もう一体の仏像造りから帰るよう命じました。賢問子は重ねて「私は老いた母がいます。一日も早く帰つて親孝行を尽くしたい」と再三お願いしました。

「天を駆けても地に潜つても、早く日本に帰りたい。日本の神さま仏さま、そして母が祈られた春日大明神さま、もう一度母に会わせてください」と賢問子は合掌して祈りました。賢問子は「細工で木の鳥を造り、両方の翼に手を入れ、海の上を飛んで帰ればいいのだ」と思いつきました。これは人間の力が及ぶことではありません。「春日大明神さま、お力を与えください」と、毎晩細工部屋に入り作業を

進めました。おおかた完成した頃、鳥の腹の中に体を入れ両方の手を動かしてみると自在に飛べるではありませんか。「今夜飛んでみよう」と喜びが込み上げました。しかし皇帝より賜つた妻に一言の挨拶も無いようでは日本の恥だと思い、柳営女に話をしました。「世話になつた情けは忘れないが、母を見捨ててこの国にいれば孝行を尽くす心を忘れてしまう。近い内に日本に帰ろうと思う」。それでも柳営女は「船着き場には見張りがいるから帰れないでしよう」と気に留めませんでした。

(つづく)



妻に別れを告げる賢問子(誓願寺縁起絵 第一幅)

おおかた完成した頃、鳥の腹の中に体を入れ両方の手を動かしてみると自在に飛べるではありませんか。「今夜飛んでみよう」と喜びが込み上げました。しかし皇帝より賜つた妻に一言の挨拶も無いようでは日本の恥だと思い、柳営女に話をしました。「世話になつた情けは忘れないが、母を見捨ててこの国にいれば孝行を尽くす心を忘れてしまう。近い内に日本に帰ろうと思う」。それでも柳営女は「船着き場には見張りがいるから帰れないでしよう」と気に留めませんでした。

お釈迦さまのゴー生涯 7

文・釈尊法話会 絵・豆田 織奈

降魔



マーラに誘惑されるゴータマ

アシユバツタの木（菩提樹）の下に座ったゴータマ（お釈迦さま）は、静かに瞑想（座禅）をはじめました。心を落ち着けて精神を集中し、人間の苦しみはどのよう位起ころのか、原因は何であるかを考えはじめました。苦しみの原因さえ分かれば、人々は救われ、豊かな人生が送れるだろう、と考えたのです。

そこに、ゴータマの瞑想を邪魔する者達が現れました。マーラ（悪魔）がゴータマの周りに集まり、様々な誘惑をはじめました。美しい女性の姿になり色目を使い、たいそう豪華な食事を目の前に出しました。また、蛇や虫にゴータマの体を傷つけさせました。

しかし、マーラの邪魔にも屈することなく、ゴータマは瞑想を続けたのです。



御忌法要のご案内

平成24年4月23日(月)～25日(水)



「一枚起請文」奉読

昨年は、「法然上人八〇〇回大遠忌」の記念すべき年に当たりました。今年は、また例年どおりの「御忌」、すなわち法然上人追慕報恩の800年目のお勤めが総本山誓願寺にて執り行われます。西山深草派の僧侶と檀信徒が集い、法然上人のご遺徳をお偲びして、共にお念佛をお称えしたいと思います。多数のご参詣をお待ちしております。

なお、団体参拝の募集等につきましては、それぞれの菩提寺にお尋ねください。

表紙の解説

総本山誓願寺所蔵「一の谷・屋島合戦図屏風」は、狩野光信（一五六五—一六〇八）筆と伝えられる六曲一双の豪華な屏風絵です。金箔をふんだんに用いて、『平家物語』の世界を描いています。右隻は一の谷の合戦、左隻は屋島の合戦を主題としています。

表紙の絵は、有名な源義經の『鷦^{ひよどり}越の逆落とし』の場面です。急速な傾斜を駆け下りる武者の一团を、迫力ある筆致で表現しています。

本作品は、特別展「NHK大河ドラマ五〇年 平清盛」展にて展示されていますので、機会がありましたらぜひ実物をご覧下さい。

【会期と会場】	
◎二月二十五日(土)～四月八日(日)	神戸市立博物館 神戸市中央区京町二四
◎四月二十一日(土)～六月三日(日)	広島県立美術館 広島市中区上織町二二二二 電話(0八二)二二二一六二四六





**動き回つても
心身体まるアジャンタ**

アジャンタの幾つもの窟院に入ったり出たりの繰り返しで、日の差さない窟院内はひんやりとして気持ちが良いが、外に出て、特に直射日光に当たると非常に暑くて汗ばんでしまう。窟院内での修行は、この時期に限つては快適だったに違いない。

三時間ほどかけて窟院を見た後、寺院群が一望できる見晴らし小屋に登った。十五分ほどで行ける場所だが、整備された道ではなく、細く曲がりくねつた踏み分け道で、一九八九年にもこの道を通つて登つたのである。見晴らし小屋に到着し、まわりを見下ろして休んでいたら、二〇才前後の男の三人連れが来たので、話しかけてみた。

八九年にここで会つた、バラカースという名前の青年を知つているか聞いてみた。当時一〇才くらいの、ミルクを入れるアルミ製の大きな容器

を、一つは頭上に乗せ、もう一つは片手に提げて親しげに入つたり出たりの繰り返しで、今度は右側に円筒状のホテルがあり、ツインの部屋がないとのことだつた。写真を何枚か撮らせてもらい、僕たちは再び来た道を降りた。いつの日か彼らに再会してみたい、ふと思つた。

一時預かりの場所に戻りバッゲージを返してもらい、アウランガーバード行きのバスを待つた。午後の日差しはとても暑く、朝食を食べた店のそばの茶店に入り、チャイヤーやジュースを飲みながら身体を休めて待つていたら、一小時間してバスは来た。アジャンタからアウランガーバードまでは南西に約一〇〇キロメートルで二時間半ほどかかる。料金は一人六〇ルピー（約一五〇円）だつた。

アウランガーバードに着いたのは、夕方の五時頃だつた。バス・スタンドを出て駅のある南に向かつてホテルを探し

ながら歩いた。最初に通りの左側に見つけたホテルに入り、聞いてみたら満室とのことだつた。更に南に歩いて行くと、今度は右側に円筒状のホテルがあり、ツインの部屋が二つ空いているとのこと。取り敢えず両室を見せてもらい、値段を聞いたら二七五ルピー（約六九〇円）で妥当な額だと思い、両室を比べても大した違いもなかつたので、その片方に決めた。『地球の歩き方』の本にも、このホテル・デヴ・プリヤは載つていて、金額もピッタリだつたので、ひとまず安心し、一階の受付カウンターに戻り宿泊手続きをとつた。



アジャンタ 見晴らし小屋にて

総本山誓願寺だより

少年少女参拝団 参加者募集

毎年夏休みに行つております。本年は、八月二十日(月)～二十一(火)の二日間が日程となり、小学五年生を対象に六十名を募集予定としております。定員になり次第締め切らせて頂きます。六月下旬に各寺院へ募集要項をお知らせしますので、詳しくはそちらをご覧下さい。



おもな行事予定

- | | |
|----|---------------------------|
| 三月 | 十四日(水)
法脈相承 |
| 四月 | 七日(土)
花まつり |
| 五月 | 二十六日(月)～四月四日(水)
春分の日 |
| 六月 | 十五日(日)
六阿弥陀功德日 |
| 七月 | 十八日(金)
六阿弥陀功德日 |
| 八月 | 三日(日)
和泉式部忌 |
| | 十四日(土)
六阿弥陀功德日 |
| | 十五日(水)
六阿弥陀功德日 |
| | 十六日(木)
精靈送り盆施餓鬼 |
| | 二十日(月)～二十一日(火)
少年少女参拝団 |

訂正 前号(133号)賢問子行状記③の副題「第三話」を「第二話」に訂正致します。

【問題】

西尾市常福寺にある高さ16メートルの仏さまは「刈宿の○○○○○さん」と親しまれています。○に入るひらがな5文字でお答え下さい。

官製はがきに、答えと郵便番号、住所、氏名、菩提寺(だんな寺)、感想や質問を必ず書いて送ってください。その中より選び紙面づくりの参考とさせて頂きます。今回は、常福寺さまより常福寺特製手拭いを2名さま、本山譲製線香を5名の方に、合計7名の方に抽選にて差し上げます。
ご応募お待ちしております。

宛先 〒四四四一三五二三

岡崎市藤川町字中町南十五

稱名寺内 ちかい編集係

答え	○○○○○
郵便番号	
住所	
氏名	
菩提寺(だんな寺)	
感想・質問等	

締切 五月十日
(消印有効)

ちかい 第134号

発行日 平成二十四年三月五日
発行所 総本山誓願寺

京都府京都市中京区新京極桜之町四五三番地
電話 (075) 二二二一〇九五八
FAX (075) 二二二一〇一〇一九
E-mail info@fukakusa.or.jp
URL http://www.fukakusa.or.jp/

クイズコーナー

何でも

お寺探偵団



Vol.32



profile

わた なべ じゅん いち

渡邊順一師（常福寺 第28世）昭和40年（1965年）11月22日生（46歳）

信州大学人文学部東洋史学専攻卒業。平成11年常福寺第28世晋山。趣味は読書。

今回は西尾市刈宿町の「天澤山 西光院 常福寺」を訪ねました。

FQ1 お寺の由来を教えて下さい。

長徳2年（996）、多田源氏満仲公の一子満国がこの地に来て住し、仮の宿と称しました。満国は亡き母の追善菩提の為にこの地に堂宇を建立しました。その後、宝徳2年（1450）堂宇を再建しましたが天災にあい、宝暦元年（1751）再々建しました。

FQ2 大きな仏さまがいらっしゃいますね。

「刈宿のおおぼとけさん」と親しまれている大仏は、阿弥陀如来座像であり、昭和の大典を記念し、昭和3年に建立され、

翌4年に開眼されました。鉄筋コンクリート造り、総高16メートル、座身8メートル、お顔2.5メートル、両膝の幅6.4メートル、蓮台2.4メートル、台座3.3メートルもあります。内部は空洞になっており、阿弥陀如来像が祀られています。大仛建立当時、寺には山門がなかったので山門のかわりに南西の角に建てられました。また漁師の海の安全を祈願し、海の方向に向けたと伝えられています。

FQ3 お寺の宝物は何ですか？

本堂内、向かって左の余間にお祀りしている不動明王さまです。これは、そもそも京都の石清水八幡宮にあった仏像です。廢仏毀釈の折、明治2年（1869）5月28日、本地仏の丈六

阿弥陀如来像等と共に總本山誓願寺に移され、その後、縁あって当寺にお招きすることになりました。西尾市の文化財に指定されています。

FQ4 「ちかい」読者に一言お願いします。

私が幼い頃は、この大仏さんのまわりが子どもたちの遊び場でした。これからも、年齢を問わず誰もが集える場所として、お寺が地域のみなさんを繋ぐ場でありたいと願っています。

毎年4月初旬の日曜日には、大仛建立法要を勤修いたします。ぜひ「刈宿のおおぼとけさん」にお参りください。

FQ4 「ちかい」読者に何か頂けませんか？

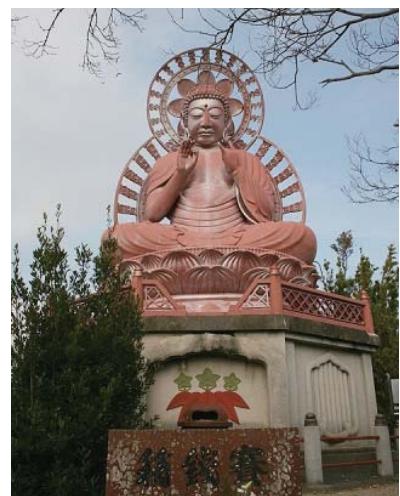
常福寺特製手拭いを2名の方にさしあげます。



不動明王（西尾市文化財）



本堂



刈宿の大仏（おおぼとけ）さん

【交通】

名鉄東部交通バス 刈谷（循環）
「西尾駅」発「刈宿」下車 徒歩5分
ふれんどバス(碧南～吉良吉田)
「刈宿」下車 徒歩5分

【主な行事】

七草法要 1月初旬の日曜日
大仛建立法要 4月初旬の日曜日
盆施餓鬼 8月10日

【お問い合わせ】

常福寺
〒444-0321
愛知県西尾市刈宿町出口50
TEL 0563-59-7847
FAX 0563-59-7549